

## [第290回朝食会]

### 「シリコンバレーの現状と日本企業の取り組みの

### 可能性について」と題して講演頂く!

#### 漆間総合法律事務所吉澤尚弁護士をゲストに開催

秋も深まった11月15日(火)横浜国際ホテルにて43名の出席で開催致しました。加藤会長の挨拶を受け、講師の講演時間が限られていることから、早速、「シリコンバレーの現状と日本企業の取り組みの可能性について」～IoT、人工知能、シェアリングエコノミーなど急速に変化する世界～と題して、一部上場の数社の監査役も務めています、弁護士法人漆間総合法律事務所 弁護士吉澤尚氏(写真右)に講演頂きました。(以下講演の要旨です)



今年、シリコンバレーには3回行っておりました、日米を繋ぐ仕事として取り組んでいます。8月にスタンフォード大学の短期のスクールに参加をしており、その点を踏まえ向こうで何が起きているのか私なりに纏めお話しさせていただきます。

私ですが、幾つかの一部上場企業の監査をやったり地元の企業の役員をやったり経産省の仕事を受けたり、クラウドのセキュリティの団体とプライバシーの世界的なルールを検討する団体で活動をしております。

**シリコンバレーは多くの名だたる企業が上場して大きな会社となっていますが、**

**栄枯衰退があり、成功したからといっても厳しい状況にもあり、競争社会でもあります!**

この間行ったスタンフォード大学ですが、125年を迎え、シリコンバレーの要として多くのイノベーターを輩出しております。非常にお金が集まっている大学で、キャンパスは非常に綺麗で、教授もただ学問をやっているだけでなく、人を集めたり、お金を集めたりすることも評価の対象となっており、非常に我々がイメージする学者のイメージとは少し違うのと、残念ながら良い先生、勢いのある先生が日本人の方であってもこういう大学に来てしまっている印象を受け、日本の高等教育の地盤沈下が進んでいるような気が致します。

シリコンバレーは60年代から2010年代後半に入り、多くの名だたる企業が上場して大きな会社となっていますが、会社の中でも栄枯衰退があります。シリコンバレーで成功したからといっても厳しい状況にもあり、競争社会でもあります。

スタンフォードにいる時、グーグル社やFacebook社の中に入れて頂きましたが、会社とは思えないリゾートの様なところで、リラックスできる環境と、国民皆保険ではないので福利厚生を出汁に良い社員をひっぱるので、そうすると止められなく、ついこの間まで3000万4000万のエンジニアだった方が突然年収100万200万に落ちるといって大変厳しい世界なので、自分でキャリアを積んで居続けないと厳しいという状況です。

ちなみに、シリコンバレーの「パロアルト」の安全な地域に住もうとすると月60万円の家賃が当たり前でそれが普通で、30万円ですと治安の悪いところですよ。

この秋にシリコンバレーに行きました時、サンフランシスコのツイッターの知り合いの弁護士を訪問しましたが、丁度今ツイッターは買収を仕掛けられて身売りの話が出ており、ついこの間出てきた会社でもこのように厳しい状況にあります。フェイスブックの会社は独立した会社が町を形成されているイメージでした。歯医者、美容院もあればレストランもあるなど、皆さんのイメージですとモールの中に会社が動いているようなイメージです。



日本もモールが撤退した跡に地方創生と言う事で不動産が廃墟になっているところに若い方を呼び寄せるような新たなビジネスの拠点として活用も出来るのではないかと同社のキャンパスを見ました。

写真の建物は新しい感じがしますが、築70年とか80年の建物を使っています。シリコンバレーエリアは建築制限厳しく明き地はありますが新築が厳しいので古い建物にリフォームをかけていく形で、以外に田舎で神奈川で言えば藤沢位のイメージです。そこで、何百億というお金、へたすると1000億単

位のお金が動いており、現地に行くと静かな田舎町なので、そのような金が動いているのは信じがたいのですが、そういう方たちが良い環境で働いているという状況です。何故、シリコンバレーも変化の兆しがあり、最近立ち上がったベンチャーは利便性の部分と人が確保できなくなったこと、都会が良いとのことで、どんどんサンフランシスコに移動しています。殆んど最近立ち上がった私がお手伝いした企業は、サンフランシスコのオフィスの中に立ち上げています。空港へのアクセス、人種の多様性、以外に黒人は少なくアジア系と最近ではイスラエルの方が増えています。軍を辞めたエンジニアの方が起業するケースが多く、企業に適したメンバーがおります。人的インフラという意味では、弁護士、会計士、エンジニア、マーケティングデータ分析、CFO、財務担当の取締役になるような方々はすぐに声が掛かるので、人を集めようとすると自然と集まり、なかなか日本では中小企業等事業承継したいとなると外部から人材を採り入れたいとなると、なかなかことが見つからないですが、シリコンバレーは此処にアクセスすれば繋げて頂けるような、エコシステムというものがあります。

**リモートワークは向いている部署と向いていない部署があり、**

**社内で導入する場合は注意して頂きたい!**

秋に行ったとき、スタンフォードの日系の先生でスタンフォードのアジアパシフィック研究所にいらっしゃる先生の協力により、これから日本企業とシリコンバレーのミドルステージ以上の企業と繋いでいこうとイベントを行われました。私も手伝おうと思いましたがこのイベントに参加いたしました。しかし、ベンチャー企業といっても一社の平均調達額は60億円です。一番多額でイベントに参加した企業は525億円です。ただ、その一方で最近の話ですが、スタンフォード大学でセラノスというベンチャーがいました。これはバイオを使用して癌を判断できるという事で700億円を集めました。大嘘だったと言う事で一大詐欺事件となり、返済するという事にはなりませんが、最近バブルになってきており、若干行き過ぎも出てきており危ないなと言う所が出てきております。

リモートワーク(情報通信機器を利用して、自宅や会社以外の場所で事業所から任された仕事を行う勤務形態)はシリコンバレーでは一般的ですが、何社か訪問してみて人事の担当の方や弁護士の部長の方と話してもリモートワークが必ずしも旨くっていない。向いている部署と向いていない部署があり、システム開発のエンジニアには向いていますが、そうでないプレーヤーもいます。家で出来るかというところもサボる方もいますので、安倍政権これから働き方の改革がテーマになっていきますけれども社内で導入する場合は注意して頂きたいと思えます。

資金調達として、日本では金融機関で調達することになりますが、クラウドファンディング、アクセラレータ(新規事業を立ち上げた時に、色々なアドバイス支援、経営人材やエンジニアを紹介してくれるプレーヤー)、また、スーパーエンジェルですが、個人でお金をポンと出してくれる方、こういう方で1億から5億出します。日本では2000万か3000万が限界ですが、既に、成功して会社を売った方は100億とか500億普通に持っておられる方がおられるので後進の指導をしたいと言う事が入って来ています。

ベンチャーキャピタルもニューヨーク証券取引所で名だたる企業でコネクションを持っていて、そういった所とベンチャー企業を繋げることが出来、投資するだけでなくマッチングもしてくれます。日本とはちょっと違うなと思えます。どちらかと言うとM&Aという事でベンチャー起業をし大手の企業に買ってもらって会社の一部になるという様な形で流通されている所が非常に多いです。

シェアリングエコノミーの今、という事ですが、皆さんご存知のウーバー(専用アプリを通じてハイヤーを予約・利用できるスマートホン向けのサービス)とかありま



すが、アメリカのシェアリングエコノミーは、結構、影の部分もあり、労働型のシェアリングエコノミー、家事のシェア、ウーバーとかは人が運転しないと出来ません。これが以外に搾取構造になっていて、各州で労働事件、裁判になっているケースも多くあります。一部の州ではサービスをストップしたりして

います。こういったサービスは何れも不便から生まれたもので日本では馴染めないかと思われます。

## **IoT の活用による新たなビジネス紹介、そして IoT は便利かも知れないけれどセキュリティ対策**

**を怠っているとときわめて危険武器になると言う事も併せて考える必要があります!**

シェアリングエコノミーは、便利であり、シリコンバレーで生まれ良いビジネスだとは思いますが。しかし、データ支配のリスクがあります。人の動きが判りますので、これを悪用するとテロ攻撃とか戦争の戦略立案とかに使えます。日本人は考えがなさ過ぎるようなところがあり、内閣府でシェアリングエコノミーで規制改革の議論の時に、例えば、パンデミックが起こった時どうするのか、例えばテロリストの滞在とか、一方ではこういったリスクがありますので、バランスよく政策として取り組む必要があります、やるのは反対ではないのですが公衆衛生とか治安の部分も確り考えたレギュレーションのあり方を考えてほしいと申し上げました。

AI を活用した医師看護師不足の対策という事ですが、皆さんもクリニックとかに行かれますと体温計で熱を測ったり、血圧を測ったりします。これを無人化してしまうというアプリです。看護師さんの顔をしたアバターというコンピュータの人間が画像に現れて指示をされ、家でそれに合わせて医療機器と繋いで、それを測った上で病院に行くと診てもらおうと待ち時間とかを削減されます。

データも管理できるので、高血圧とか糖尿病とかはずーとデータを採り続ける事が大事で、寝ている間も測ったりするので、それをサポートするシステムです。

これは画像からある程度症状を特定して最適な医師を紹介し、予約まで出来るシステムです。日本ですと何処に行けば良いというのが判りますが、アメリカは結構酷く、ドラッグストアも日本でいう薬剤師が指導して薬を投与すれば治るものを、医師が良く判らないから痛み止めを出して終わりにしてしまうと言うことが現場でよく起こっているのです、それをちゃんと交通整理しましょうというニーズがあるので便利ですが、生まれてきた背景が日本とは違うのでアメリカは凄いというだけで見て頂きたいと思いません。

IoT は、皆さん注目もありますが、市場規模は凄く全世界で 365 兆円の規模になります。ただ、3 週間前にアメリカのインターネットに対して大規模なサイバー攻撃がありグーグル、ツイッター、フェイスブックが使えなくなりました。

IoT と言っているわりに、これって相当まずいことで、我々が普通に使っているインフラ、電気等が一瞬に吹っ飛ばす事を意味しており、IoT は便利かも知れないけれどセキュリティ対策を怠



っていると極めて危険武器になると言う事も併せて考えないといけません。何に使うのが最適なのか、便利だけれど何に使ったらリスクが少ないかちゃんと考えないと、皆さん IT、IT と言うかも知れませんが、本当は、今、起こっている社会科学的な観点から、人間と人と人との関係、そういったところを正しく理解する世界というものを見落とさないで頂きたい。

これは、批判しているのではなく、旨くワークさせようと思ったら危ないところ

はちゃんとバランスを考えて打つのが政策だと思っています。今の平和な状態、治安の良い状態で公衆衛生上も管理されている状態で、便利だから何でもいいやという議論は止めて頂きたいと思っています。便利なものを如何に世の中にあった形に合わせていくことが必要だと思います。

## **ただ納品するのではなく其処で取れるデータと一緒に何か新しいビジネスに**

**変えていきましょうとか、そういう契約をしてほしいのです!**

可能性を秘めた IoT という事ですが、家庭用の IoT、車の自動運転、スマートシティ、海運、ウェアラブルデバイスとか石油の掘削など遠隔で行っているとか、オフィスも工場もコンビニ、フランチャイズのディーラー等色々なものがインターネットに繋がっていくと思います。

既に、コンビニは端末も使っています。今、IoT 当然は使用されておりますし、「コマツ」さんも重機を全てインターネットで管理して、部品の交換からどうやって工事を進めたら良いかなど全てデータで分析をしたりしています。

日本の IoT とかデバイスと先進技術は世界でも有数ですが、ただ単に納品しましょうという発想は止めた方が良く、ただ納品するのではなく其処で取れるデータと一緒に何か新しいビジネスに変えていきましょうとか、そうは言っても突然業態を変換出来る訳ではないというのであれば、

部品をより良くする為の情報をください、そういう契約をしてほしいのです。

少し、発想を変えて少なくとも自社に有利になるような改良技術だったり、お客さんの声が入るような契約をして頂きたい。ものを売り買いするのが今までのビジネスだったと思いますが、売り買いしながら情報も買う、情報も貰うと言う様な発想に少しずつ変えて頂きたい、これが生き残るためのポイントだと思っています。

IT 企業が持っている情報は国がコントロールできないような情報を持っています。日本の政府はデータコントロールをどう支配するかと言う議論がありません。このままだと支配されてしまいます。IOT は怖い側面があるというリスクを判った上で、それをリスクではなく自分達の情報を取れば有利に立てるんだと。昔は景気が悪くなると戦争になりましたが、情報における戦争は始まっていて、それが3週間前にアメリカに対する大規模サイバー攻撃です。今、情報を如何に握って優位に立つかが非常に重要になってきており、ビジネスの世界でもそうですし、そういったもので支配をしようとしている事にも気をつけて頂きたいと思います。

IOT は機械だけでなく、農業、畜産にも使われておりますし、ドローンを使用してカリフォルニアのワイン農場でドローン、衛星を使ってぶどうの生育状況を見て、どれだけ収穫できるか予測して、お金が必要な時金融がどれだけ農家に融資できるか農業と金融が連携しているので、それがITで繋がっています。

**今までは技術や製品自体が凄いとかで売ってきましたが物を所有しない**

**借りる、使うという発想でその中でお金になっていく時代になっています!**

これからのビジネスは、うちは製造業だから他はやらないとか、うちは銀行だからやらないではなくて、一緒にやって何かシナジーが見出せるものがあるのではないかなど、少しだけこうした発想を持って頂ければと思います。

今は10万円を切るようなロボットで、搭載されているのは当然電子商取引で、何れは動きを察知しますのでヘルスケアのサービスにもなり、例えば、その人の表情を見たりとか血圧を測ったり、血糖値も注射しなくとも測れるもの、手で触れば測れるセンサーが出てきていますので、家庭にしながらその人の健康状態を把握して問題があれば病院に行ってくださいと言う事が出来るようなビジネスになっていきます。

今のロボットのようなものに、顔認識 AI という事で人の顔で怒っているとか、喜んでいるとか感情を認識してその人の今の気持ちに合ったサービスを提供できることが、ロボットであったり、色々な機械に実装されると的確なサービスが出来るのではとされています。

世界の識事実は70~80%で、後の20~30%は取り残されています。アフリカとか途上国は完全に取りこぼされています。

シェアリングエコノミーではないですが、今、物を買うという考えが変わってきていますし、女性の洋服でもカリフォルニアで生まれたシェアリングエコノミーでは、今流行のニューヨークで話題になった洋服を月1000ドルから1万ドルで色々な服が送られてきて、好きな服を着て洗濯しないで返せる。そういったサービスも生まれてきて、この商品が良いから買うという時代から、その製品を使って改良していく、それがサービス一部になっていく売り方が出てきています。

これが日本企業に無い部分で、今までは技術が凄いとかで売ってきましたが、物を所有しない、借りる、使うという発想でその中でお金になっていく時代になっていますので、そういう戦略も持つ必要があると思っています。

それがプロダクトロミナートロジック、サービスロミナートロジックと言われ、

プロダクトロミナートロジックとは、製品の良さで売っていた時代、サービスドミナートロジックと言うのは、色々使っていただく中で製品が改良されたり、ものはサービスの一部になっているという売り方です。これは造っている側にも情報が入ってくるので、どんどん改良されていく、ものを皆で使用するので高いものでも皆で金を出し合って買える発想に立っていますので、より、消費者も高級なものを使えるようになってきています。



**今、私ができることは色々なアメリカの方を招聘して、**

**自ら行動していくようなコミュニティをつくろうとしています!**

今、私ができることはせっかくアメリカを訪問し、日本の MIT 会やスタンフォードの教授とも仲良くしてきましたので、こういった方々を私が一橋大学出身ですので同大学の MBA の大学院を中心に色々なアメリカの方を招聘して、皆さんで何が起きているのかという事を学習して、自ら行動していくようなコミュニティをつくろうとしています。

その中で日本のベンチャー企業と日本型のロボットを造ろうじゃないかと言う事で、始めています。いずれ、こういうロボットが可愛いとか癒しだけでなく、ヘルスケアとか生活を支援するようなロボットに変わっていくと思いますし、デジタルヘルスという日本には存在しないビジネス形態で皆さんの健康情報を医療的な情報まで集めてそれを医者と共有することによって、無駄をなくすということで、東大の薬学部とも連携し勉強をしています。

また、米国のベンチャーキャピタルと一緒に進むとか、静岡の女性経営者が農業の流通化やロボット化により改革すると言う事ですので、弁護士として支援していきたいと考えています。

時息、日本の人口が減少していくなかで、今、自分が持っているネットワークを何かが生まれるものにしていきたいなと思っています。

弁護士業をしながら新しい活動もしておりますと言う事で、シリコンバレーもそういう動きをする方々多く、学校とかが気に入らなければ自分達でつくってしまう、我々も文句を言う暇があったら行動すると言う事を心がけていくと言う事で、世界に必要とされている新たなサービスを作り上げるために頑張っていきたいと思います。と話され、IT 社会の動向など、経営との関りなどについて研鑽の場となりました